

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

平成26年3月の「安らぎ通信」

60万円で命と国を守る「壁柱」 — 普及に向け意見交換会



大阪府木材連合会と京都大学が共同で開発した間伐材活用耐震補強工法「壁柱」が、がぜん注目を集め出しました。

その大きな要因が、昨秋2回にわたって京大防災研で実施された世界初の「実物大実験」。その模様をNHKや民放各社が放映、一般紙や専門誌でも大きく取り上げられ、全国各地から問い合わせが殺到しています。

開発から6年余り。国土交通大臣の認定まで取得しています。

(2014年2月20日 東洋木材新聞記事から抜粋)

東京圏への人口集中「問題ある」69%

大規模災害時の影響 懸念



東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）への人口集中が続いています。

総務省が1月末に発表した2013年の人口移動報告をみると、転入者数から転出者数を差し引いた転入超過数が東京圏は約96,500人と、前年よりも3万人近く増えました。特に東京は7万人を越す転入超過になっており、東京への一極集中が際立っています。

今回の調査で、こうした東京圏への人口流入について、「どちらかといえば」も含めて「問題がある」という回答が69%になりました。東京や神奈川で暮らす人もほぼ同じ割合で問題視しています。

その理由は、「大規模災害が起きたら取り返しがつかない」で53%になりました。

2番目の理由は、全体では「国土の均衡ある発展を妨げる」が多いですが、東京に暮らす人に限ると「住環境が悪くなる」が上回りました。

是正策として「地方への企業誘致の積極化」を選んだ人が47%と最も多くありました。

(全国の20～60代の男女1000人にインターネットで調査)

(2014年2月 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781